



運動会に向けて

夏休みも終わり、学校に子供たちの笑顔が戻ってきました。休みの間、子供たちは、様々な経験をし、たくさんの思い出を作ったことでしょう。その経験によって生み出された自信や知識、技能がこれから始まる2学期の生活づくりの糧となり、一人一人の行動に表れることを期待しております。季節も夏から秋、さらに冬へと変化していきます。基本的な生活習慣を整えながら、「仲良く遊び 共に学び 進んで行動する」子をめざして、さらなる高みをめざして行ってほしいものです。

さていよいよ運動会も迫って参りました。運動会は、2学期の学校行事の中でも音楽会と並ぶ最も大きな行事の一つです。

学校には年間を通して、たくさんの行事が計画されています。入学式や卒業式などの儀式的行事、音楽会や造形の会などの文化的行事、修学旅行や校外学習などの遠足・集団宿泊的行事、運動会や音楽会の前日準備などの勤労生産・奉仕的行事、そして健康安全・体育的行事である運動会と大きく5つに分類されています。

そもそも、この学校行事は何のためにあるのでしょうか。小学校学習指導要領には学校行事の目標が次のように決められています。

「学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的態度を育てる」

特に運動会などの健康安全・体育的行事は「心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと」を謳ってあります。ですので、運動会では、徒競走など体力の向上に資する走競技、棒引きなど子供たちが協力して行う団体競技、そして個人の技能を高め、全員で一つのものを作り上げる組体操やリズムダンスなどの表現種目が設定されているのです。

近年、中でも組体操は、前年度や他校とその技の完成度や難度を競うかのように年々高度になり、大きなけがの発生について問題になってきています。

そこで六甲山小学校でも、神戸市の「組体操事故防止ガイドライン」に沿って、事前に「組体操練習計画書」を提出し、事故防止に向けて重篤なけがにつながる巨大化や高層化を避けたり、危険が予測される演技では、補助者をつけたりするなどして取り組んでまいります。前年度よりももっとすばらしいものをということ「より高く、より大きく」で表現するのではなく、本来のねらいに立ち返り、個々の子供の現状を踏まえながら、安全を確保して練習を行って参りたいと思います。

運動会が子供たちの心身の育成かつ安全に行われるように努力してまいります。当日にはたくさんの方々にお越しいただき、学習の成果を見届けていただければと思います。どうぞよろしくお願ひします。

森澤 克行